



けすぞう新聞

2021年3月発行
NO.39
播磨町消防団女性分団

防災劇の紹介 救急車が来るまでに あなてにもできること (白雪姫編)



①太陽の光も届かぬ「かなしみの森」老女は魔法の鏡に問いかけます。
「鏡よ鏡、この世で一番美しいのはだあれ？」
「七人の小人と暮らす白雪姫様です」
「なにい？白雪姫め、生きていたのか！かくなる上はこの毒リンゴで・・・イーヒッヒッヒ・・・この世で一番の美女はこのわたくしよ」



②ここは明るく楽しい「よろこびの森」、可愛い小人達と美しい娘(白雪姫)は歌い踊ります。小人達はお仕事へ。「行ってらっしゃい小人さん。小鳥さんご機嫌いかが。お掃除、お花のお手入れ、今日の夕食は何にしましょう？なんて幸せで楽しい森の生活かしら」



③お城から抜け出して迷子になって大変だったけれど、この**非常持ち出し袋**がとても役立ったわ。お水と乾パンは空腹を満たしてくれ、懐中電灯は夜の森でも足元を照らしてくれたわ。マッチを持っていたからたき火もできたし、レジャーシートと毛布で眠ることもできたの。小人さんのお家を見つけるまで元気にいられたのは、非常持ち出し袋のお陰だわ。

—そんな白雪姫を陰から見つめる怪しい老婆



けすゾウ新聞

2021年3月発行
NO.39
播磨町消防団女性分団

防災劇の紹介 救急車が来るまでに あなてにもできること (白雪姫編)



④「あら、お母さま」
「何だって？私はリンゴ売りだよ」
「変装しても、お母さまの美しさは隠すことはできませんわ」
「え？そうかい♪(この娘、分かっているじゃないか。毒リンゴ作戦は中止にしよう)」
「私は小人さんと森で過ごすことにしましたの」
「じゃあ、私は帰るよ」
「まあ、それならこの非常持ち出し袋が役立ちますわ。それにしも、なんておいしそうなリンゴ・・・」



⑤「ダメよ、このリンゴは・・・」
「それじゃあ、このお団子をいただきます～す♪」
白雪姫、大きな団子をのどに詰まらせた。
「くっ、苦しい・・・」バタリ
「ああ、どうしよう。だれかいないかい！」



消すゾウ

⑥「私は隣の国の王子様、ではなく播磨町消防団女性分団のマスコットボーイ、消すゾウ。おばあさん、どうしました？」
「この子が団子をのどに詰まらせたんだよ」
「おお、なんとあわてんぼうな姫」
・・・苦しそうにする白雪姫
「ん、意識はあるゾウ。こんな時は、まずのどに詰まった団子を吐き出させるゾウ」
「どうするんだい？」



けすぞう新聞

2021年3月発行
NO.39
播磨町消防団女性分団

防災劇の紹介 救急車が来るまでに **あなたにもできること** (白雪姫編)



⑦「**背部叩打法**。後ろから体を支え、片手で思い切り背中を叩くんだゾウ。パン！パン！パン！」

白雪姫の口から団子がポロリ、体はバタリと倒れこむ
「いや、まだだゾウ。肩を叩いて名前を呼び続けて！」
「だめだよ、反応がない」
「何！！これはマズイ！大きな声で助けを呼ぶんだ」
「誰か！！誰か助けておくれ」



⑧消すゾウは小人に119番通報で救急車を呼ぶこと、おばあさんにAEDを探してくるよう指示。
「AEDは自動体外式除細動器ゾウ。けいれんしている心臓に電気を流して、心臓を正常に動かす装置だ。AEDと救急車がくるまでにすることは、まず、**呼吸の確認**だ。小人さん、姫の**胸や腹の動きを見て、呼吸を確認**だ。10秒以内！」
「呼吸していない！」



⑨「すぐに**胸骨圧迫**だ。しっかり重ねた手を胸の上に置き、肘を曲げずにまっすぐ伸ばし、自分の体重をかけて押す。1分間で百回のリズムで30回！」

*呼吸の確認では顔を近づけすぎないように、心臓マッサージの際はウイルスの飛散を防ぐため顔にハンカチ等をかぶせる。子どもは呼吸停止の影響が大きいので人工呼吸を行う。成人には行わず胸骨圧迫とAEDによる処置を続ける。一次救命措置で重要なのは胸骨圧迫とAEDによる電気ショック。人工呼吸を行わないことで必ずしも救命率が低下するとは限らない。



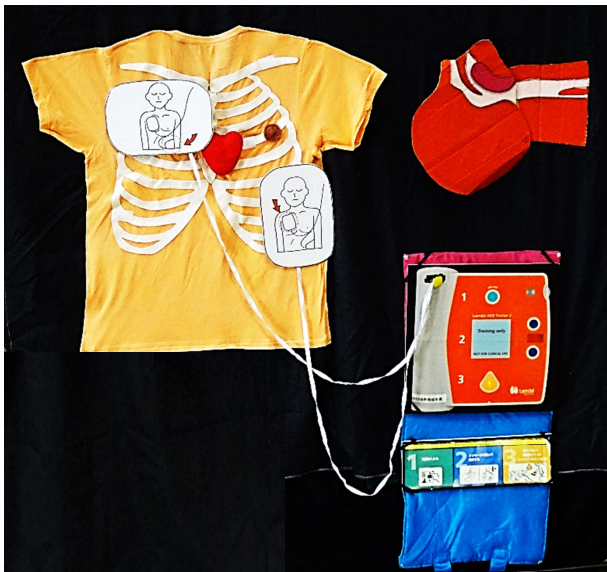
けすぞう新聞

2021年3月発行
NO.39
播磨町消防団女性分団

防災劇の紹介 救急車が来るまでに あなてにもできること (白雪姫編)



⑩AEDが到着
「音声ガイドに従えば大丈夫。フタを開け電源オン。服を脱がせ、電極パッドを直接皮膚に貼る。貼る場所はパッドに描いてある。AEDが心電図の読み取りをする。」



姫の体には触れないで。AEDが心臓の動きを読んで、電気ショックが必要か判断する。」
AED”電気ショックが必要です。体から離れてください。ショックボタンを押してください”

「みんな離れて。体に電気が流れるゾウ。」
電気ショック!!

「すぐに胸骨圧迫を開始！2分後にAEDが心臓の動きを読んで、電気ショックが必要か判断する。」

白雪姫がむせて呼吸を始めた。

「白雪、分かるかい？聞こえるかい？」

目を閉じたまま、うなずく白雪姫。



⑪「息をされていて反応がある。胸骨圧迫は必要ない。AEDはそのままで救急車を待つ。顔を横に向け回復体位だゾウ」

♪ピーポーピーポー♪

シートと竿で簡易担架を作り、白雪姫を運び出す。

「私は播磨町消防団女性分団のマスコットボーイ、消すぞう。困ったことがあったら、いつでも読んでください。さらばじゃ」



けすぞう新聞

2021年3月発行
NO.39
播磨町消防団女性分団

防災劇の紹介 救急車が来るまでに あなてにもできること (白雪姫編)



救急車を呼んでから到着まで、平均5分。呼吸が止まってから5分経ってから救命処置をした時、脳の蘇生率は、わずか25%。心停止の可能性のある傷病者を発見したら、①応援を呼ぶ。119に連絡する②胸骨圧迫③AED装着④医療機関へ これらの連携が、社会復帰へと導きます。これら「救命の連鎖」が重要です。

ここからは**AED応用編**。小人さんに色々な状態で登場してもらいます。



その1:海でおぼれた
⇒体が濡れてパッドが貼れない
濡れていない床の上に寝かせ、電極パッドを貼る部分をしっかり拭いてからパッド装着。

その2:トレーニング中に倒れた
⇒胸毛がフサフサ、ネックレスあり
金属は、外すか、パッドから遠ざける。体毛が濃く、パッドが肌に密着しない時はAED付属品袋に入っているカミソリで毛を剃る。



その3:老女が倒れた
⇒シップ、心臓位置があいまい
シップ等の張り薬は取る。
パッドは心臓を挟み込む位置に貼ることが重要です。

救急車が来るまでの一番大切な時間、人の命を救うのは私たちです。

おしまい

3